

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 4年 3月 8日

公表: 令和 4年 3月 16日

事業所名 あみふらす2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	基準となる面積を確保しており、2つの訓練室を使い分けて支援をおこなっています。	活動内容によっては狭く感じることもあるが、待つ訓練も兼ねて順番に行うなどを継続して行い、うまくスペースを活用していく。
	2	職員の配置数は適切である	10	0	基準の以上の職員を配置しています。	送迎時間中や利用者の症状によってはもう少し人員が欲しい時もある。採用継続していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	8	廊下やトイレに手すりが設置してあります。	玄関など大きな段差がある箇所がある。予算や契約上の問題から大きな改装は困難であるため、現状の設備で受け入れ可能な利用者に限定せざるを得ない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	ミーティング、モニタリングを行い、利用者の情報共有、目標の進捗、見直しすべき点について話し合っています。	意見を募りやすくするため、利用者の様子について話し合っている。その結果、モニタリングに全員が参画している形になっている。PDCAまで全職員で話し合えるようにする。また、経営的なPDCAは毎月全施設の正社員が参画している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	毎年実施しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	ホームページにて公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3		外部評価はおこなっていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1	外部研修情報を提供し、参加を促しています。	こまめに案内し、職員の資質向上意欲を高めていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	日々の様子をミーティングで話し合い、日々の計画に役立てている。相談支援員も交え、アセスメントの把握、職員間でもモニタリングをおこなっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	定められたアセスメントツールを使用しています	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	職員間で話し合い、特に正社員が中心となって立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	利用者の発達段階や好きなものを踏まえて飽きないようにしている。いろいろな活動を提供できるように工夫している。曜日ごと異なる活動をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	平日は目標・課題を念頭に置いて活動を計画している。長期休暇・休日は平日とは違った活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	子どもの状況に応じて対応している。一日のスケジュールの内、前半は集団、後半は個別活動をおこなっています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	当日の支援内容は業務前に必ずミーティングで確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	4	送迎終了後、気になった点、様子について共有している。担当者が個別に記録し、職員間で共有している。	終了後には必ずおこなってはいない。気づいた点については翌日ミーティングにて共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	毎日個別の日報を作成、支援方法の検討に使用している。ミーティングにて利用者の情報を共有、議事録を作成しています。モニタリング記録などを残しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	0			

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	2	
----	---------------------------------	---	---	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	1	保護者を通して確認、また学校から毎月の下校時間、行事予定のお便りを受け取り実際に確認をおこなっている。	学校から直接情報提供されていないところもあり、保護者を通してのやり取りをおこなっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9	1	医療ケアや緊急時の対応の指示書を提出していただいて活用しています。主治医の連絡先は確認していますが、実際にやり取りする場面は少ない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	4		特にそのような場面がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	4		対象者がおりません。要望あればご家族の了承を得て提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4		できておりません、今後活用したい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	4		決まった機会はないが、近所の公園でその場にいる子と一緒に遊ぶなど交流する機会があります。現在はコロナ禍のため自粛しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	6		しておりません今後は
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	送迎の際に時間の許す限りその日の様子や日頃の様子を伝えあっている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	1	折を見て話すことができるように心がけています。	療育や医療的ケアで相談があれば対応させていただきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	面談、書類等で通知しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	特に説明が必要なケースは直接面談や電話で話し合いをしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	9		コロナにより開催が難しい。父母の会はないが、保護者同士の連携を支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	苦情があった場合は優先的に対応する体制になっております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	毎月の活動・イベント予定を写真と共に前の月にお知らせし、インスタグラム等の写真で活動の様子が把握できるようにしている。	
	35	個人情報に十分注意している	10	0	契約時に個人情報について説明、承諾書を使用し確認をとっております。専用回線、継付きの書庫で情報が外部に流出しないようにしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	会話が難しい子に対しては絵カードを使用し、コミュニケーションが取れるように努力しています。わかりやすい言葉を使い、顔をみよて表情からも	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7		今後検討いたしますが、子どもたちが嫌がり企画自体が難しいかと思われます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	4		防災マニュアル(火事・地震)はあるが、作るべきマニュアルが多すぎてなかなか手がかからないのが現状です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	9月、10月は防災月間として、避難訓練、防災訓練をおこなっています。	地震時だけでなく、火災の場合もおこなったほうがよいのでは？外出で
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	毎日のミーティングにて虐待にあたる行為がなかったか確認、また事例の確認、ケーススタディなどで具体的な意識付けを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	4	医師の指示書は受けていない。アレルギーのあるものは食べないようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	ミーティングにてヒヤリハットを確認、書類を作成している。	